

新潟市マンガ・アニメ情報館

新潟市マンガの家

令和2年度 指定管理業務報告書

- 1 入館状況
- 2 施設管理運営状況
- 3 情報館 実施企画展
- 4 家 実施企画展 特別講座
- 5 施設間連携 アウトリーチ
- 6 広報活動
- 7 普及啓発事業
- 8 その他

新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家 指定管理者
にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体
代表法人 学校法人国際総合学園

1. 入館状況

令和2年度入館者数：	新潟市マンガ・アニメ情報館	98,940人
	新潟市マンガの家	16,841人
	2館合計	115,781人
	(2館合計目標 140,000人に対し 82.7%)	
	マンガの家講座受講者数	1,254人

※別添資料：情報館 R02年度減免規定・団体利用者数（年度まとめ・月別）

新潟市マンガ・アニメ情報館（以下、情報館）と新潟市マンガの家（以下、家）は本年度始めより本格的な流行をみせた新型コロナウイルス対応のため過去に例のない運営に奔走した一年となった。年度内に2度の緊急事態宣言と新潟県独自の警報が発出され、往来と外出の自粛、マスク、消毒などの常用を基礎にした「新しい生活様式」に社会が一変した。両施設とも新潟市の感染予防ガイドラインに沿ってオペレーションや企画展の運営を変更。来館者の安全・安心とスタッフの健康維持を最優先にコロナ禍の誘客施設の在り方を構築してきた。体温測定機器、サーキュレーターの設定や消毒液などの感染予防への出費も大きく膨れ予算を圧迫。また、感染予防のオペレーションを日々こなしてきたスタッフの業務量、精神的な負担も大きかった。結果として両施設から感染事例を出すことなく年度を終えることができたが、一方入館者数には大きな影響が残った。市の要請により、新潟市マンガの家は4月21日～5月10日、新潟市マンガ・アニメ情報館は4月20日～5月17日の約1か月を休館とした。情報館では予定していた企画展も権利元の判断により急遽中止、または延期となるものが相次ぎ、年度当初予定していた通りのスケジュールで開催することが出来なくなった。そのため6月には急遽自主企画展（約1か月）を作り込むなどして対応。緊急事態宣言解除後からの約2か月に渡る期間は大きく集客を落とすことになった。この休館期間もスタッフ全員の雇用を安定させるため、施設設備や蔵書のメンテナンスなどの業務に充てた。特に観光客の入館が多い家では昨年度と今年度の同じ7月で比較すると、関東圏からの来館が2019年度は約29%のところ、今年度は約9%と大きく落ち込んだ。情報館が位置する万代地区の商業施設地域においても昨年度と比較すると7割方集客が落ち込んでいるという情報もあった。1回目の緊急事態宣言のインパクトにより「お出かけマインド」が大きく冷え込んだ様子がうかがえる。さらに入国制限もあり近年伸びていた海外からの集客はほぼゼロなり、学校関係では遠足や市内巡検、修学旅行などが軒並み中止となったことから例年春秋に多かった団体入館も大きく減少した。そんな中でも情報館ではより魅力的な企画展を入れ込み、家では制作講座に工夫をするなどして入館者数の回復にスタッフ一丸となって尽くした。今年度両館合わせての入館目標には達しなかったが、コロナ禍における安全性と誘客のバランスを高い次元で達成できたものと自負している。

情報館では企画展のスケジュールが大きく変更になったことを逆手に、より幅広く、全年齢層に響くような作品をラインナップすることを主眼としスケジュールを再構成した。

「まんがタイムきらら展」は萌えキャラ好きの10代～30代の男性コア層、「パトレイバー展」は80年代アニメブームを形成した今や40代の男女層、本市出身高橋留美子先生の「犬夜叉展」は20年に渡る人気作であることからお母様層の来館も多く、「テニスの王子様展」は20代～40代の女性コア層、そして社会現象にもなった「鬼滅の刃」はファミリー層と、今年度開催した企画展は全世代に来場の機会を持っていただけるラインナップとなり館の認知も促進できた。緊急事態宣言による休館期間前後の「樋野まつり」「Vチューバー」を加え企画展を全7本開催。「鬼滅の刃」は開館時間を1時間早めて対応するなど、より多くの入場者を迎え入れた。今年度大きなテーマとなった「安全性と誘客のバランス」に対して「犬夜叉展」「鬼滅の刃展」で行った「入場時間指定制」は大変有効と感じており、今後も適宜活用していきたい。

家では入館制限数を高く設定できないことや人流のリスクを避けるため、あえて大規模な企画展を行わず、地域に密着した内容の展示にシフトした。「ワコムペンタブレットアート展」は毎年JAMで開催していたものを誘致し近隣学生の呼び込みに充てた。「開志学園高校作品展」は同校がコロナの影響により学園祭が中止となったため学生の発表の場を失ったという状況を救うために展示の場を提供。学生や保護者を取り込んだ。日々の制作講座の充実にも力点を置き「アマビエ缶バッジをつくろう」など時流に乗った内容で積極的な広報を打ち、メディアに取り上げられる回数も増えた。家ならではの講座やイベントのラインナップを今後も充実させていく。

2. 施設管理運営

情報館及び家においては、新型コロナウイルス対応のため過去に例のない対応をせまられた一年であったが、両館共にクラスターも発生せず無事運営することができた。次年度以降もアルコール消毒液の他、新型コロナウイルスの感染防止対策の為の出費が嵩むことと思われるが、来館者に安心していただくことを第一に様々な対応を心掛けて運営していく。

3. マンガ・アニメ情報館

(1) 常設展

①ピックアップコーナー

ピックアップコーナーでは直近1年間に行った企画展を振り返ることができるポスターを展示した。



②プリントシール機の設置

常設展示室内に古町と団五郎や新潟の名所を背景にしたシールが作成できる「プリントシール機」を7月より設置した。(※写真は館外に移動して撮影したもの)

大量に消費されるものではないが、情報館でしか購入できないグッズとして今後も継続設置する。



(2) 企画展

① 新潟市マンガ・アニメ情報館でVチューバーやってみた。

開催期間：2020年6月6日(土)～6月28日(日)

主催：新潟市マンガ・アニメ情報館

協力：UX新潟テレビ21/JAM日本アニメ・マンガ専門学校
来館者数：260人



4月28日より開催予定であった企画展が、新型コロナウイルス感染拡大の影響から中止となり、次の企画展示「まんがタイムきらら展 in 新潟(7月4日より開催)」まで企画展示室での展示の予定がない状態であった。

そこで、UX新潟テレビ21とJAM日本アニメ・マンガ専門学校の協力を得て、新潟にゆかりのあるVチューバーの紹介と、Vチューバーになれる体験コーナーを設置。また、他にも疑似ホログラムによるアニメーションの投影など、現在のデジタル技術の一部を紹介するコーナーも設置した。また、上記期間中の入館料は常設展示室と同額とし、常設展の観覧と同時に企画展示室の観覧も可能とした。

予定していた企画展の中止により急遽設計した企画展ではあったものの、外部企業や団体との連携により無事開催することができた。今後もやむを得ない状況により企画展の中止があるかもしれないが、対応できるよう外部との連携を深めて参りたい。

【同時開催イベント】「日本アニメ・マンガ専門学校 学生作品展」

開催期間：2020年5月28日(木)～6月28日(日)

会場：情報館外壁(共用部)、旧ミュージアムショップエリア

※地域・関係団体との連携イベント

上記期間の同時開催イベントとして、JAM日本アニメ・マンガ専門学校の在校生や卒業生の作品を、「未来のイラストレーター達」というコンセプトで常設展ピックアップコーナーに展示した。今後も可能な範囲で地元の学校や団体との連携展示を行いたい。



② まんがタイムきらら展 in 新潟

開催期間：前期／2020年7月4日(土)～8月16日(日)

：後期／2020年8月22日(土)～10月4日(日)

主催：まんがタイムきらら展 in 新潟実行委員会

(新潟市/BSN新潟放送/芳文社/産経新聞社/新潟市マンガ・アニメ情報館)

来館者数：11,106人

2018年に独立創刊15周年を迎えた4コマ漫画誌『まんがタイムきらら』の展覧会用描き下ろし漫画とイラスト、貴重な資料や設定画などを一堂に展示する展示会。一昨年は東京、昨年は大阪で開催し、当館では3回目の展示となる。(※展示ボリュームが大きい為、当館では「前期・後期」に展示内容を分けて開催。)

開催初日は多数の来館者が訪れたので、「新型コロナウイルスに関する新潟市のガイドライン」に基づき、1時間あたり100人以下の入館になるよう整理券を配布。大きな混乱もなく、無事初日を終了することができた。また、各特典のプレゼントやキャンペーンの実施による効果もあり、前売り券及び当日券の販売枚数が予想を大幅に超え、当日券チケットや特典クリアファイルが足りなくなり、追加で作成するほどであった。「まんがタイムきらら」は4コマ漫画専門雑誌であるが、多数の作品がアニメ化されており、各作品のファンも多いことから多数のお客様にご来館いただいた。結果、入館料収入や物販利益金を合わせ、実行委員会の収支は大幅にプラスとなった。





【関連イベント】

前期展特別イベント「Quro先生」「ひさまくまこ先生」サイン会

開催日：2020年8月9日（日）

後期展特別イベント「なじみ先生」「鴻巣覚先生」サイン会

開催日：2020年9月21日（月・祝）

会場：旧GCP（ガタケット・コスプレパーク）

全国からたくさんの応募があったが、サイン会の会場は密の状態を避ける為に隣の旧GCP（ガタケット・コスプレパーク）区画に設営。アルコール消毒液の設置やエアコンやサーキュレーターを駆使しながら待機している人のソーシャルディスタンスを保ち、両日共に無事サイン会を終えることができた。なお、サイン会会場として（旧ガタケット・コスプレパーク）を使用するためにやむを得ず、別途賃借料を支払わなければならなかったが新型コロナウイルスの影響を考慮すると広い会場が必要であったため、最善策であったと考える。今後もイベント会場の設営には万全を期する。



演者と参加者の間にアクリル板を設置



受付スタッフはマスクとフェイスガードを着用



紫外線ウイルス殺菌装置(試験導入)



サーキュレーター



待機列はソーシャルディスタンスを保つ



③ 「機動警察パトレイバー 30周年突破記念 『OVA-劇
パト1展』」

開催期間：2020年10月10日（土）～11月15日（日）

主催：機動警察パトレイバー展新潟実行委員会

（新潟市/UX新潟テレビ21/新潟市マンガ・アニメ情報館）

来館人数：3,516人

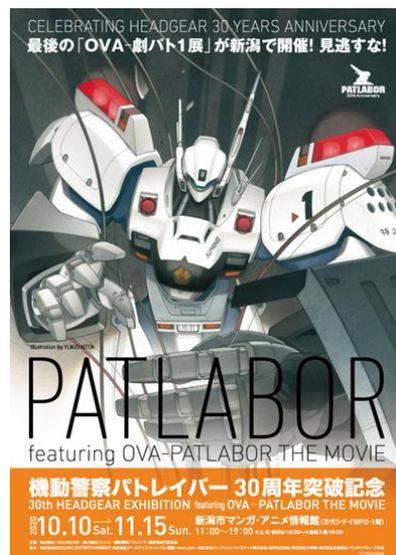
『機動警察パトレイバー』は1988年の発表以来、マンガ、OVA（オリジナルビデオアニメーション）、劇場アニメ、TVシリーズ、小説、ゲームなど様々なメディアで展開され、30年以上に渡り今なお高い支持を得ている作品。

本展はアニメシリーズの30周年突破を記念し、現存するアニメの制作資料から、キャラクターやメカ設定のラフスケッチ、原画、背景美術、イラスト、マンガ版のカバーイラストなど、『パトレイバー』シリーズの原型を形作った初期の貴重な資料を観ることができ

る。また、グッズコーナーでは大人気の『篠原重エグッズ』や本展オリジナルグッズ、新潟オリジナルグッズなどを多数販売した。

会期中に開催された『がたふえす』とのコラボ企画や、T・ジョイでの特別上映企画なども合わせ、『パトレイバー』の世界を多角的に体感できる展示となった。

（※大阪、東京2回、名古屋に続いて当館は5番目で最後の巡回。）



④ 犬夜叉-アニメの軌跡展-

開催期間：2020年11月28日(土)～2021年1月11日(月・祝)

主催：犬夜叉アニメの軌跡展新潟実行委員会

(新潟市／新潟市マンガ・アニメ情報館)

来館人数：3,727人

『週刊少年サンデー』（小学館）にて1996年から2008年まで連載された、高橋留美子先生（新潟市出身）による大人気漫画を原作とするテレビアニメ『犬夜叉』。その続編である『半妖の夜叉姫』の放送を記念し、テレビアニメ『犬夜叉』初の展示会『犬夜叉-アニメの軌跡展-』を開催。アニメーションの軌跡を辿りながら、『犬夜叉』の世界観を実体験できる展示内容や記念グッズを販売した。

また、この企画展では著作権元の意向によりコロナウイルス対策の一環として初日と2日目のみ「完全日時指定制」となったが、会場の混乱もなくスムーズな入場を促すことができた。



⑤ ～連載 20 周年記念全国ツアー～

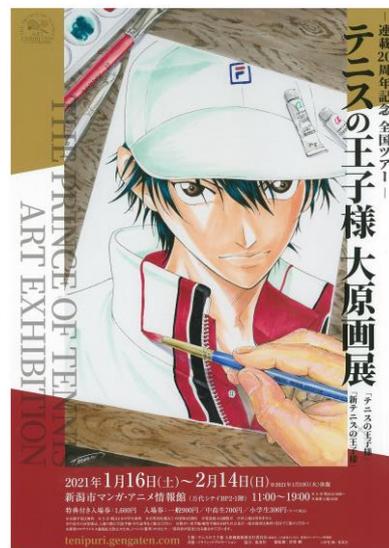
『テニスの王子様 大原画展』

開催期間：2021年1月16日（土）～2月14日（日）

主催：テニスの王子様大原画展新潟実行委員会

（新潟市/UX新潟テレビ21/新潟市マンガ・アニメ情報館）

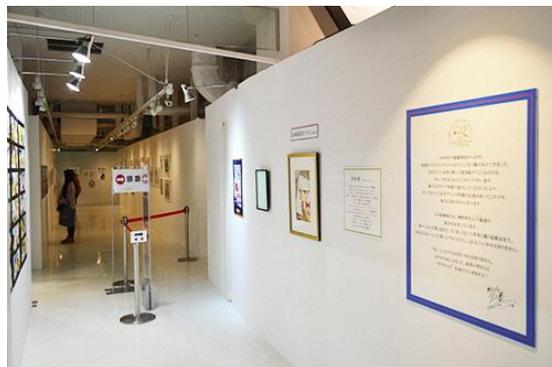
来館人数：1,757人



「テニスの王子様」連載開始 20 周年を記念し、「テニスの王子様」×「新テニスの王子様」の生原稿、カラー原画などが一堂に会する大原画展。会場では、原画展のために製作されるオリジナルグッズや版画などを多数販売した。

当企画展は当初は今年度 5 月に当館での開催を予定していたが、コロナウイルス感染拡大の影響を受け、著作権元の意向によりやむなく開催をいったん延期となった経緯があり、感染拡大が収まったこの時期の開催となった。

なお、開催期間前より 12 都道府県で緊急事態宣言が発令されており、2 月 2 日に栃木県は解除されたものの、他の地域は緊急事態宣言の継続が決定。新潟県においては独自の警戒警報が発出継続される中での開催であったが、最終週の土日は多くの来館者で賑わった。



⑥ TVアニメ「鬼滅の刃」全集中展

開催期間：2021年2月27日（土）～3月17日（水）

主催：鬼滅の刃全集中展新潟実行委員会

（新潟市／BSN新潟放送／新潟市マンガ・アニメ情報館）

来館人数：16,672人

※新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、全日程を日時指定制にしてチケットはローソンチケットのみで購入とした。その為、無料及び割引等の観覧料の各種免除は行わなかった。

当企画展は当初は今年度4月～5月のゴールデンウィークに当館での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてやむなく延期になり、今回の開催となった。当館での開催前には日本各地で開催され、当館は最終開催地（東京）のひとつ前の会場となった。

社会現象とまで言われた

当コンテンツの人気はすさまじく、前売券の予約段階でほぼ全日程が埋まった。また、今回は新型コロナウイルス対策のひとつとして1時間に入場できる人数を制限したことから、会場が密になるのを防ぐためにも前売券、当日券共にローソンチケットのみで販売。当日券の購入に関する電話の問い合わせが当館に殺到した。

また、開催中の会場においては入館者を入館前に整理番号順に約1m間隔で待機列を形成。チケットの確認、入館前に注意事項を説明し、受付ではアルコール消毒の依頼、体温チェック、マスク着用チェックなど、感染症対策を入念に行ってから案内を徹底した。

なお、今回もクラスター発生を防ぐことを最優先事項と考え、物販会場は隣の旧GCPを借り受け、十分な空間を確保。会場使用料は別途発生したがクラスター発生もなく無事開催終了を迎えることができた。





4. マンガの家

【常設展】

本年度は下記のマンガ本を蔵書に加えた。

作家名	タイトル	巻数
しげの秀一	MFゴースト	1
片山愁	師匠シリーズ	3、4、5
伊藤里	千紘くんはあたし中毒	2
久織ちまき	セインティア翔	6、7
板垣ハコ	魔王の俺が奴隷エルフを嫁にしたんだが、どう愛でればいい!?	1、2
カトウコトノ	将国のアルタイル	16～20
斎藤周平	クローズ外伝 鳳仙花	2～5
桜井海	おじさまと猫	1～3
桜井海	神とよばれた吸血鬼	1～6(全6巻)
日野杏寿	バチカン奇跡調査官	4、5
日野杏寿	BLACK BABYLON-ブラック・バビロン-	1
みよしふるまち	台所のドラゴン	1、2
湯木のじん	藤代さん系。	1
湯木のじん	今日もアイツは丸かった。	
湯木のじん	茜君のココロ	
湯木のじん	青山月子です！	1～3
湯木のじん	これは愛じゃないので、よろしく	1～5
春田なな	スターダスト★ウインク	1～11(全11巻)
春田なな	つばさとホテル	5～11
梅沢麻里奈	きゅっと結んでスキ	1
梅沢麻里奈	世界で一番きれいな初恋	1
佐和田米	アクロトリップ	1～3
江口夏実	鬼灯の冷徹	1～23

※既存の蔵書の抜けている巻の補充の他、新潟ゆかりの作家の作品や両館で開催した企画展の作品を購入している。

【企画展】

① 牛木義隆「夢喰いメリー」・袴田めら「最後の制服」展

開催期間：2020年8月15日（土）～10月6日（火）

主催：新潟市マンガの家

協力：産経新聞社

来館者数：3,803人

新潟市マンガ・アニメ情報館にて同時期に開催中の「まんがタイムきらら展 in 新潟」連動企画展として、新潟出身作家である牛木義隆先生の「夢喰いメリー」、袴田めら先生の「最後の制服」の複製原画展を開催。（※お二人とも新潟市出身）

情報館とマンガの家の両館を回遊した方には「オリジナルポストカード」プレゼントキャンペーンを実施。また、マンガの部屋では「夢喰いメリー」「最後の制服」をはじめとしたコミックスを無料で読めるPRも行った。



② 「ペンタレット de アート投稿コンテスト 2020」
 開催期間：2020年10月15日（木）～11月15日（日）
 主催：新潟市マンガの家
 協力：株式会社ワコム、季刊エス・スモールエス
 編集部、日本アニメ・マンガ専門学校
 来館者数：2,006人

ペンタレットメーカー（株）ワコムとイラスト専門誌、季刊エス・スモールエス編集部と共催で行われる年に1度の国際イラストコンテスト「ペンタレット de アート投稿コンテスト」。1,200点を超える応募作品の中から一次審査通過の500作品を一堂に会し、WEB会場の作品展と同時にリアル作品展示会、及び投票会場としてマンガの家で開催した。



③ 『マンガ王国 新潟が育てた クリエイターの卵たち』開志学園高等学校作品展
 開催期間：2020年12月17日（木）～2021年2月16日（火）
 主催：新潟市マンガの家
 協力：開志学園高等学校
 来館者数：2,164人

新潟で唯一、マンガ家やイラストレーターの技能を教える学科を持つ開志学園高等学校

の在校生と、すでに作家としてデビューしている卒業生の作品約40点を展示。同校は毎年開催される『にいがたマンガ大賞』に多数応募。3度の大賞受賞をはじめ数々の上位受賞歴を誇っており、まさに『マンガ王国新潟』に若い裾野を広げてきた存在と言える。

今年は新型コロナウイルスの影響を受け学園祭が中止となり、在校生たちの作品を発表する場を失ってしまったことから、当館で作品展を開催する運びとなった。これからも地域の学校との連携に積極的に取り組んで参りたい。



©斎藤周平



©伊藤 里



©OUGA



④ 第23回にいがたマンガ大賞作品展

開催期間：2021年2月18日（木）～3月30日（火）

来館者数：2,075人

毎年恒例の展示会。昨年同様、にいがたマンガ大賞受賞作品を各部門に分け、6週に渡って展示。新潟ゆかりのマンガ家の皆さんからいただいた応援イラストも展示した。合わせて作品集の販売も行うなど、にいがたマンガ大賞の窓口としてマンガの家の認知を広げる機会にもなっている。



【マンガ講座の実績】受講総数 1,254 人

タイトル	内容	開催回数	参加人数
マンガのいっぽスタジオ	平日開催 13 時～15 時半。 マンガ講座講師によるマンガ or イラスト制作実演＋マンガのペン体験コーナーです。	178 回	21 人
マンガの作り方まるごと体験	マンガ原稿制作について「見る」「聞く」「体験する」時間です。マンガづくりのお悩みやコツなどの質問にもドンドンお答えします。※12 月まで 1 日 2 講座、1 月から 1 日 1 講座で開催。	46 回	32 人
パソコンでマンガを描こう体験	パソコンを使ってマンガを描いてみたいけど、難しそうだし、お絵描きソフト持ってないし…。そんなはじめてパソコンで絵を描いてみたい人向け体験会です。	6 回	15 人
コピックマーカー講座	プロのマンガ家やイラストレーターも愛用する『コピックマーカー(カラーマーカー)』を使ってぬりえをしてみましょう。	8 回	21 人
はじめてのトーン講座	マンガ原稿に貼るスクリーントーンの使い方を学んで、実際に貼ってみましょう。	6 回	9 人
つやベタを塗ってみよう講座	「つやベタ」とは、マンガ原稿で黒い部分を塗る時に艶感を出す塗り方のことです。筆ペンを使って、女の子の黒い髪をツヤツヤに塗ってみましょう。	10 回	9 人
女の子キャラを描いてみよう講座	女の子キャラを描く際のポイントをお教えします。	8 回	20 人
4 コマにチャレンジしてみよう〇〇篇	4 コママンガの最後のオチを考えてみましょう。季節ごとなどテーマを変えて開催。	13 回	20 人
作っておくろうグリーティングカード	色鉛筆やコピックマーカーを使って、クリスマスカード・ニューイヤーカード・バレンタインカードをつくりましょう。	10 回	39 人
作ってあそぼうハロウィン・鬼マスク	ハロウィンや鬼のお面に色を塗ってフェイスシールドを作ろう。ぬり絵をしたお面を透明フェイスシールドに貼って完成。完成品はそのままプレゼントします。	7 回	47 人
描いておくろう似顔絵教室	こちらで用意したパーツをもとに描くので、初心者の方でもカンタンにソックリな似顔絵が描けます！	4 回	19 人
ぬり絵で作ろう〇〇缶バッジ	アマビエやモンスターをモチーフにしたイラストでぬり絵をして、缶バッジをつくりましょう。	5 回	46 人
缶バッジ作成	毎日開催。 自分だけのオリジナルの缶バッジを作りましょう。	毎日	409 人
ぬり絵・ベタ塗りコーナー	ぬり絵の素材と画材を置き講座時間以外でも気軽にぬり絵体験が出来ます。	毎日	475 人
・その他、情報館など企画展に合わせた講座・夏休み向けの講座など 1～3 回の単発的な講座を開催。 ・土日・祝日は講座時間以外でつけペン体験を希望される方には個別に対応。			72 人
合計		1,254 人	

5. 施設間連携 アウトリーチ

情報館・家の施設間連携は企画展関連講座の展開を中心に以下の通り実施。

情報館	家
「まんがタイムきらら展 in 新潟」 オリジナルポストカードプレゼントキャンペーン	夢喰いメリー・最後の制服展 オリジナルポストカードプレゼントキャンペーン
お菓子の詰め合わせ(100円相当)プレゼント	みんなで作ろう！ハロウィンマスク！
機動警察パトレイバー展	関連書籍おすすめコーナーを設置した。
犬夜叉-アニメの軌跡展-	
テニスの王子様 大原画展	

マンガの家では、マンガ制作の一工程である「ベタ塗り」を練習する素材を提供している。特別な技術を必要とせず短時間で達成感を得られるため、年間のべ475名の参加があった。また、昨年度より無料マンガ基礎講座「マンガのいっぽ」及び缶バッジワークショップのチラシを作成し、各月のテーマに沿ったベタ素材も掲載した。情報館・マンガの家にて配布し、マンガの家来館者増加に効果があった。マンガ制作をより身近に感じてもらうため以降も積極的に提供する。

他にも、昨年度よりオリジナルの缶バッジを制作するワークショップを開館日は毎日開催。参加者が描いたイラストを無料で缶バッジにする内容で、手軽に自分のオリジナルグッズが制作出来るため、年間のべ409名の参加があった。また、「家族で作ろう！アマビエ缶バッジ！」「ぬりえで作ろう！モンスター缶バッジ！」と題し、イベントを開催した。情報館・マンガの家スタッフでアマビエや、日本の妖怪、ハロウィンをテーマにしたモンスターのぬりえ素材を作成し、参加者がそれをぬりえして缶バッジにする、という内容で、5日間で計46名の参加があった。また、情報館受付スタッフ各々がオリジナルの缶バッジを作成、見本として着用し、マンガの家誘客に貢献した。来館者に作品作りをより身近に感じてもらうため、今後も缶バッジワークショップ、それを活用したイベントを開催する。

また、コロナ禍の中需要が高まったフェイスシールドを活用し、ハロウィン前に「作ってあそぼうハロウィンマスク！」、節分前に「作ってあそぼう！節分 鬼マスク！」を開催し、7日間で47名の参加があった。多くの参加があり好評であったため、今後も開催する。



スペシャルワークショップ

自分だけのオリジナル
缶バッジを作ろう!

参加費無料!
道具もいりません!
作った缶バッジ・カレンダーは
お持ち帰りいただけます!



本格的な
缶バッジ
マシーンで
作ります!

■開催期間：毎日(毎週水曜日休館)
■受付時間：13:00~15:30
ご希望の方はお気軽にスタッフにお声がけください!
※缶バッジの制作はそれぞれ一人さま1日1つまでです。

① 新潟市新津美術館との連携事業『出前美術館』『マンガワークショップ』

新潟市新津美術館主催の出張型美術授業(アウトリーチ)も今年度で7年目となる。今年度は2校にて実施。対象は小学校1年生~中学生とし、新潟市新津美術館より各学校へ募集をかけていただいた。「誰でも描ける!簡単マンガキャラクターデッサン」と題し、デッサン法をマンガ的な解釈により敷居を下げながら示し実践させる。具体的には顔の描き方の基本、顔の向きを変える方法、人体構造の基本を1時間半前後で身に付ける内容。進捗を見ながら、講義した手法を活用して、簡単な四コママンガを完成させるワークショップも開催。冒頭には、情報館と家のPRを入れ、館の広報活動として活用させていただくと共に、マンガ家、アニメーター、イラストレーター等の作業内容を伝えることで、職業啓発としての意味合いも含む授業とした。

受講した生徒達からは「前より顔が上手に描けるようになった」、「絵を描く事が好きになった」といったような感想が多数寄せられ、このジャンルにおける次代の担い手やファンを生み、併せてマンガを「文化」として普及する意味のある取り組みと実感している。今後も引き続き取り組んでいく。

■今年度実績

- ・黒崎小学校 5年生(23名) 7月10日(金)
- ・曾根小学校 6年生(51名) 9月16日(水)



② 情報館・家独自のアウトリーチ

上記と同様の出張講座実施を希望する各学校、団体からの要望へ積極的に応えた。子どもたちへのキャリア指導、進路講話といった内容の希望があった場合は、マンガ家やアニメーターの仕事内容、実現の方法なども授業内容に含んでいる。こちらも引き続き取り組んでいく。

■今年度実績

- ・坂井輪小学校 6年生(107名) 11月12日(木)
- ・真砂小学校 6年生(約57名) 1月21日(木)



各学校からの総合的な学習によるインタビューの要望にも積極的に応えた。今年度は3校の依頼に応じて可能な限り回答した。また、職場体験の要望にも応え、今年度は1校の依頼を受けた。生徒たちの地域やマンガ・アニメという文化に対する理解を深める活動を助け、社会について学ぶ機会を提供できた。

■今年度実績

●「総合的な学習」でのインタビュー対応

- ・新津第五中学校 2学 23名 9月24日(木)
- ・中野小屋中学校 2学年 8名 10月2日(金)
- ・新潟大学附属新潟小学校 6学年 6名 11月2日(月)

●職場体験

- ・東新潟中学校 2学年 3名 9月29日(火)

6. 広報

情報館・家の広報について、日常的なものとしては各ホームページ(HP)とツイッターを中心に展開した。各施設の情報を、リンク先である新潟市のマンガ・アニメPRサイト「マンガアニメナビにいがた」などに掲載。ツイッターに関してはこのジャンルを好む層に向けて大変有効な伝達手段であるため、その反応をつぶさに分析しながら、昼夜問わず効果的なタイミングで展開した。また、実行委員会制の中で地元放送局との連携も強化され、企画展ごとのTVCMを多く打つことができた。いわゆるSNS世代だけではなく、より幅広い層に認知を広げていくためにはTVの活用は必須と考えており、今後も積極的に展開していきたい。

【主な広報実績】

TVCM：情報館開催各展（各 15 秒）

TV 中継：共催する地元 TV 局の番組の一コーナーやニュース

タウン誌：月刊にいがた

新聞、折り込み情報紙：

新潟日報、おとなプラス(新潟日報夕刊)、市報にいがた、新潟情報、妻有新聞、Voice!(会津)、読売新聞、朝日新聞

WEB サイト：

日刊にいがた WEB タウン情報、Komachi Web、おで Café、まいぷれにいがた、SHIKAMO、PR TIMES、アニメツーリズム協会 HP

7. 普及啓発事業

情報館及びマンガの家の普及啓発を目的として、自主事業利益金の一部を用いて実施。

実施月	内容
4 月	「第 22 回にいがたマンガ大賞作品集」における、「新潟市マンガ・アニメ情報館」及び「新潟市マンガの家」広告掲載料の支出

※本年度の自主事業利益金は大きな金額が年度末に入金されたため、普及啓発費については次年度に繰り越して使用する。

8. その他

(1) 外部研修・会議等

本年度はコロナ禍で外部研修自体が開催されず、また県外への移動も難しい状況で参加はできなかったが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みながら次年度以降に機会をみて参加したい。

(2) 県外・国外からの来館者数の把握

前年度に引き続き、県外や国外からの来館者数を把握する為、どこから来たかをシールで貼ってもらうマップを作成し、情報館・マンガの家両館に設置しているが、コロナ禍の影響で激減した。次年度以降に期待したい。

